



# 福田っ子だより

福田小学校たより 第4号 2023年8月29日発行

## 2学期始業式 宮本校長の話 思い出づくりの学期に

～自分のすばらしさを発揮して～

皆さん、おはようございます。福田小学校に、元気な笑顔が戻りました。とてもうれしく思います。夏休みに入る前に「え」「が」「お」を心掛け「笑顔で過ごす楽しい夏休み」にしてくださいとお話ししましたが、皆さんの夏休みはどうだったでしょうか。

さて、今日から2学期がスタートします。1年の中で、一番長い学期です。全部で80日間あります。そして、「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」と言われるように、何をするにも適しているとてもよい季節です。学校でも、校外学習・5年生の宿泊訓練・運動会・6年生の修学旅行など楽しいことがたくさんあります。一人一人が自分のよさを発揮して、みんなで力を合わせてよい思い出をたくさんつくってほしいと思います。



2学期のスタートに当たり、皆さんにお願いがあります。今年の夏休みは、世界水泳、女子サッカーワールドカップ、世界陸上などの世界的なスポーツイベントや、甲子園球場での高校野球の熱い闘いがありました。テレビを通して、代表選手の皆さんの活躍をたくさん見たのではないのでしょうか。校長先生は、特に水泳の池江璃花子選手の活躍に感動しました。白血病という病気を克服し、得意の50m バタフライで決勝に進出しました。惜しくもメダルには届きませんでしたでしたが、泳ぎ終わった後の涙のインタビューには本当に心を打たれました。

今、自分がこの場にいられることがとてもうれしい…病気と闘った苦しみを乗り越えてたどり着いた決勝の舞台だったでしょう。他の世界中の選手たちもコツコツと努力を積み重ね、頑張ったから、勝っても負けても、感動できるのだと思います。

こうした大会に出た選手は、素晴らしい力を持っていることは、間違いありません。でも、校長先生は、ここにいる皆さん一人ひとりも、それぞれに違った「素晴らしい力」を持って生まれてきていると思います。「大造じいさんとガン」というお話を作った動物作家の椋鳩十（むく はとじゅう）さんも、「人間は素晴らしい」という本の中で、こんなことを書いています。



「人間は、動物として生きていく力のほかに、一人ひとりそれぞれ別の力が与えられている。絵の上手な人、歌の上手な人、手先の器用な人、口の達者な人。全員それぞれ『素晴らしい力』をもっている。君たちは、自分の中に素晴らしい宝物をもっている。そういう力を出すために、勉強したり、本を読んだり、感動したりして自然と力がわいてくる。力が出たとき初めて『あ、自分にこんな力があつたのか』と思う」

2学期は自分の「素晴らしい力」を見つけたり、伸ばしたりしてほしいと思います。簡単には見つからないかもしれませんが、必ず全員が何かの素晴らしい力を持っています。そのためには、一人一人が、**自分の頭で考え、勇気を持っていろいろなことに挑戦**してみてください。最初から「自分にはどうせできない」「絶対無理」なんて言って逃げてはいけません。失敗してもいいのです。一生懸命に取り組んだ失敗は、これからの生活に必ず役に立ちます。**大切なことは、あきらめないうで続けること**です。

そして、「**努力はたしざん。協力はかけ算。努力は増えてプラスに、協力は一人でも協力しない人がいればゼロになる。**」といます。たしざんは、必ず増えていきますが、かけ算はゼロを掛けると、ゼロになってしまいます。そうならないように、それぞれの素晴らしい力をみがき合い、助け合い励まし合って思い出いっぱいので2学期にしてください。

最後になりますが、2学期もみなさんと先生方が笑顔で学校生活を送ることができるように頑張ります。みんなで力を出し合い、もっともっと楽しい学校になるように過ごしていきたいと思います。

以上、2学期始業式の話とします。



福田小 HP は、  
こちらからご覧  
いただけます。

